廣告
痰(たん)を祛(さ)り咳(せき)を治(ぢ)する良剤

「ナアねいさんわたしもいろいろくすりをもちひましたがたとへばほんとうにせきたんがでますのではいって かつているとふ石田氏のせき薬をのみましたらとてもよくなりましたのでおひとつのんでごらんなさいまし
なりましたら

「どうぞ病氣にはお茶をのませ孫がなりませぬやうにとのちとても入らぬ早く石田さんのまづみとよいお薬がたんと おありますから

「ナフおばば茶をたてかけるので風邪はぬきさしならぬたんせきがのどにつまるものかしらおまへさんの目のせき薬でおぼしめさんせきがなほりました時の京都の石田製のせき薬でおなじいさんのおくすりとおもひましておかへりになりまして薬をのみましたところふしぎにもなほりて今日は用ひなさらぬ程によくなりましたから わたしもこの様にせきをいふものは此病ぢやとおもつていつもせきがなくなりますとも薬をおしえてあげておいてせきの出る人には此薬をおしへて進ぜるがよいぞ

「ハイハイかしこまりましたあなたさまよいお薬をおしへてくださいましてなんとも結構でございますおまごさんの親類の中にもなかまのとゞかぬ方にもたんせきでおこまりの方がおありなさればおしへてあげ升

「此児(こ)の先月から百日せきで乳(ち)をあましようひるあまりましたが石田製のせき薬と清虫丸といふむし薬を兼てもちひましたのでさつそくなをりおぜんいひおくよく孫までさんあうれしいるすればおざりませね

芳年画

せきたんおよびのあまりの出る方ハ早く用ひられ病ニ益よく實ニよくききまれ

保證人 遅塚堂主人

商標

官許 胸和散

多年せきたちまち治る 方書あつく。たんる。せく。あつく。ともに云

せきたん妙薬

本家 京都五條橋東二丁目 石田勝秀

取次所

特約大販賣支店 東京今橋通加賀町九番地 石田運勝堂